

令和7年度第1回横須賀市ブルーカーボン推進検討会 議事録

1. 日時

令和7年6月10日（火）15時00分～17時00分

2. 場所

横須賀市役所消防局庁舎3階 消防第2・3会議室

3. 議題

- (1) 「横須賀市地球温暖化対策実行計画」における吸収源（藻場）の目標設定
- (2) ブルーカーボン推進検討会のあり方

4. 出席者

(1) 構成員

山北 剛久、今井 利為、原 昌史、木村 宏道（オブザーバー参加）、
小菅 君明、今村 正裕、小澤 紳一郎、川口 将人、谷 英明
（敬称略、順不同）

(2) 事務局等

経営企画部都市戦略課 佐野 良介、小坪 ちひろ、穂本 紘大、天野 達斗
経済部農水産業振興課 三縄 友弘
港湾部港湾企画課 千葉 寿

5. 議事

(1) 「横須賀市地球温暖化対策実行計画」における吸収源（藻場）の目標設定

○ 委員からの意見

- ・今年長井や荒崎はわかめが多いが、1年を通してあるものではない。
1年を通して生育していないものをどのように評価していくのか。
- ・二酸化炭素の吸収量も評価する必要があるのではないか。
- ・評価をする時期には工夫が必要。海藻が最大に伸びた時期で測定するなど、
関係者と調整しながら進めていくのがいいのではないか。
- ・目標に向かって何をすべきかを考えていくことが必要となる。

現状は細々と実施している状況で、目標達成は厳しいと思う。

- ・藻場の増えた部分がどのくらいあるのかを調べていかないといけないのではないか。
- ・葉山町では、スポアバッグで藻場を増やしている。
漁業関係者だけにボランティアのお願いをしていくだけではなく、お金を出して事業として実施していくべきではないか。
- ・6年前にアマモの移植を行い、当初は定着していたが、現在は減少傾向にある。その後3回実施したコアマモの移植実験では、最近の調査でコアマモが大きく広がっていることが確認できた。
環境変化も踏まえ、アマモやカジメの増加に固執せず、今後はコアマモのような可能性のある種の移植を進めていくことが重要と考えている。
- ・現状では目標設定に無理があると感じているものの、目標がなくなると事業の後退につながる恐れがある。そのため、多少無理をしてでも目標は必要だと考えている。
また、事業を寄附金に頼るだけではなく、市としても財源を確保し、積極的な姿勢を示すべきだと考えている。

● 事務局の回答

- ・海藻には季節性があり、成長する時期が異なると理解している。
年間を通じて安定的に繁茂する状態にすることを目指したい。
- ・二酸化炭素の側面からみると、なくなったワカメやカジメは二酸化炭素を吸収して海底に貯留している。吸収量として一定の評価ができると思う。
- ・海藻によって二酸化炭素の吸収係数が異なる。繁茂する天然の海藻は、コントロールできない。そのため二酸化炭素の吸収量の試算は、正確性が低くなる。
計画に落とし込むからには、ある程度の根拠を説明できるものにならなければならない。そのため、今回は面積のみの目標にした。
- ・Jブルークレジットの2,400 m²と6,800 m²は、手を入れて増えた場所で少しずつ増えたものである。増やし方については現状、試行錯誤状態であ

る。

- ・今年度予算としては、一部寄附などもあるが約500万円計上している。予算の確保については、市全体のバランスもあるがボランティアだけで進めようとは思っていない。取り組みの方法なども含めて、予算については考えていきたい。
- ・いただいたご意見を精査し、具体的な目標について改めて考えていく。今回ご議論いただいた部分については、計画に対する目標であるため、引き続き環境審議会で議論しながら考えさせていただく。

(2) ブルーカーボン推進検討会のあり方

○ 委員からの意見

- ・解散することは賛成する。
今後、新しい組織を作る場合、審議会の委員就任時のような正式な手続きで委嘱していただきたい。
- ・情報などを聞くだけの会では意味がないため、会議を開く場合は、具体的な課題解決につながる場にしていただきたい。

● 事務局の回答

- ・今後の仮に会議体を作る場合は、その部分も配慮しながら進めさせていただく。

6. その他

(1) 令和7年度ブルーカーボンの取り組み

○ 委員からの意見

- ・少ない金額を毎年積むよりも、大きい金額を1年で使う方が、藻場が定着すると考えられる。
- ・昔から魚がいて食害の影響もあったと思うが、海藻がなくなることはなかった。食害が磯焼けの影響の1つと言われているが、現状は魚がどんどん減少しているが、磯焼けも進んでいる。
自然発生するときは、ほったらかしにしても海藻は、自然発生する。

そう考えると、食害対策として、ネットなどで対策することは、個人的にはいいと思わない。

- ・海水温の影響なのか、現状カジメは育たないがワカメが繁茂している。本来もう時期なくなるところが、まだ繁茂している。全体的に時期がずれてきた感じがする。
- ・ホームページで情報提供していると思うが、データなどが見える化していくことは大切だと思う。
発信していくことによって市民の方に興味を持ってもらえるのではないかと考えている。

● 事務局の回答

- ・海藻の生育状況を注視しながら、費用をかけるタイミングを見定めることは、戦略としては確かにあると思う。
その際に、やはり国の財源などを活用していく必要があると感じている。
- ・横須賀市としては、相模湾側と東京湾側で状況が異なるため、状況に応じた対応が必要になる。
それぞれの取り組みに応じて、個別にご協力やご相談させていただきながら対応していきたい。
- ・見える化の話については、まさにその通りだと思う。
ホームページ整理したが、もっと市民にも関心を持ってもらえるようなものにするのを引き続き考えてたいと思う。
その際、様々なデータなど提供いただけるものがあれば、ご協力していただきたい。

(2) 意見交換および情報共有

- 委員からの意見なし

7. 閉会

これをもって、ブルーカーボン推進検討会は解散し閉会することとした。

以上